

平成28年熊本地震の被災地へ 災害支援ナース派遣

〈町立病院看護部長 松川美鶴〉

熊本県看護協会から災害支援ナースの派遣要請があり、4月18日から益城町の避難所などに派遣を開始しました。

●災害支援ナースとは

看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職の事です。都道府県看護協会に登録されています。

和水町立病院も常時1名を登録しています。

【要件・条件】

- ・都道府県看護協会の会員であること
- ・実務経験年数が5年以上であること
- ・所属施設がある場合は、登録に関する所属長の承諾があること
- ・災害支援ナース養成のための研修を受講していること

●実際の活動

避難場所地へは、通れない道も多いため朝4時ごろ起床、3時間以上運転していく状況で、到着するとまず緊急連絡先を提出し活動にあたりました。

災害支援の基本は自分の行動に責任を持つこと。また自分の身は自分で守る、持ち物は持参して活動し、何も残さず持って帰ることでした。

災害支援ナースは、昼間も夜間も、避難所の住民を見守り被災者に寄り添い、心的ストレスへの対応、感染防止、環境整備、エコノミークラス症候群予防、医療が必要な人を適切に医療チームにつなぐことをポイントとして活動しました。

全国からたくさんの医療チームが派遣され、4月20日からは福岡県をはじめとする九州圏内の看護協会が、4月29日からは山口県・京都府・奈良県・滋賀県・東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県・大阪府の災害支援ナース延べ1688人、26か所で支援活動が行われました。

●感想

災害支援ナースとして被災地に入り何が出来るのか不安でした。病院のように点滴などの治療ではなく、避難所の情報収集や被災状況の把握などでした。情報収集時は「どこから来たね」「私は大丈夫他の人は診てやって」など自分の事は二の次で他の被災者を気遣う優しい人が多くいました。しかし、時間とともに今後の不安が大きくなって、「家に帰れるのか」「不安や不満をどこに言ったらよいか分からん」と話された方もおられました。私たち災害支援ナースとしてすべてを自分でせず、チームの一員として活動することと、被災者に寄り添って話を聞く大切さを学びました。そして、全国の災害支援ナースの一員として活動したことを普段の業務に活かしたいと思います。



町立病院から災害支援に派遣された看護師、介護福祉士です

歴史調査の楽しみ方

江栗城跡

34

大田幸博

(元菊水町史編集委員会副委員長)

熊

本地震が発生してから、62日目の6月14日に、やっと、現場が再開出来ました。余震も、鎮静化に向かってはいる様で、嬉しい事です。関係者一同、「さあ、これから頑張るぞ」という気になりましたら、16日から県内は、本格的な梅雨空になりました。世の中、上手く行きません。

山城の維持管理

山城は、絶えず維持管理をせねばなりません。春から夏にかけては、城内の大規模な草刈り。梅雨時期は、大雨による土砂流失で、日々、土塁は細り、反対に堀は埋まっていきます。梅雨明けには、修復作業が待っています。

夏から秋には、大風(台風)も吹き、建物のメンテナンスが必至です。高山に建っていますから、被害は甚大です。

堀井戸があれば、毎年、井戸浚いが必要になります。加えて、今回のような大地震に遭遇しますと、山城と一体化した麓集落(城下町)も巻き込んで、大きな被害が生じます。余震は長期間続きますので、復旧作業が大変です。山城の維持管理は、苦

労の連続であつたらうと思えます。維持管理の従事者

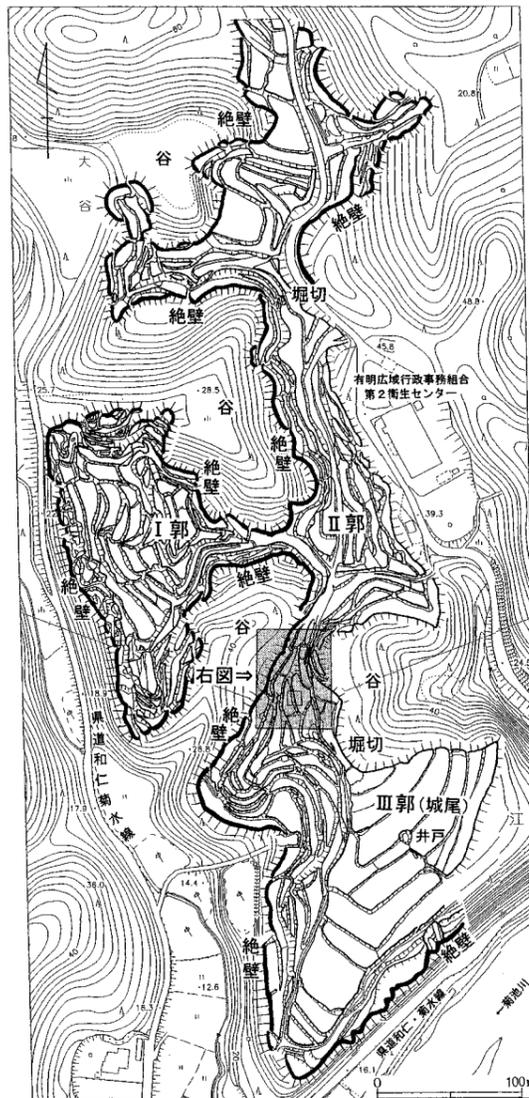
大方の場合、山城と一体化した麓集落の住人です。彼らは、有事の際に、領主から身の安全を確保して貰う(籠城)ために、平時において、山城の維持管理に従事しました。持ちつ持たれつの関係にあつた訳です。麓集落の範囲は、周囲の村々にも拡大していたと推定されます。

今回の調査

江栗城跡の防衛施設を考える上で、大動脈にあたる堀切個所の西端を調査しました。今回で、この個所は、測量を終了しました。九州電力鉄塔から、北々西側にあたります。2条の帯状地形が上下に並走して、整地されています。下段端は絶壁になります。

城域の西端の崖線

太線で縁取りしてありますが、見事なままでの崖線が連なっています。以前にも、触れましたが、部分



江栗城跡全体図



堀切北々西側(鉄塔周辺)測量図

的には、古い時代の採石場の跡らしき個所がありますが、大方は、城時代からのものと考えています。東側は、今日、有明広域行政事務組合第2衛生センターの敷地になっていますが、旧地形は、西端と同じく、崖線が巡っていた事が確認されます。何度も申しましたが、江栗城跡は一級品の山城です。

調査は、城尾地区の北端から東端に入ります。これまで同様に斜面部の切り込みが大

きく、下草の繁茂する所ですが梅雨明けから頑張っていきます。余震の一日も早い終息を願う所です。